



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
TEL:0593-32-0733

掲示板法話

欲深き人の心と降る雪は

積もるにつれて道を忘れる

首都圏や東日本一帯に大雪が降った日、以前某寺の門前で見た標語の言葉思い出しました。

「欲深き人の心と降る雪は、積もるにつれて道を忘れる」

積雪のため、どこまでが道路なのか分からずに、側溝に車輪を落として難儀する車。滑って転倒する事故など、日ごろ予期せぬ事態に大わらわの日本列島でした。大雪は一時的な自然現象ですが、「欲深き人の心は、積もり積もって(人の)道を忘れる」とはよく言ったものだと思います。

私のことを住職だとか存じの知人が「亡父の五十回忌法要の案内を親戚に出したら、『古い人の法事など、招かれるのも迷惑です。お互い、合理的に行きましょうや!』と言われました。母が存命ですので、ご縁のある人たちに大勢お参り頂きたいと願っていましたのに、寂しい時代ですね」と話していました。

同じ真宗某派のご門徒の話です。で、他人事と思えません。これは、「時代のせい」にしているのだろうか? 僧侶の怠慢以外の何物でもない付けが



回ってきているのです。「死んだらおしまい」「安らかに眠りください」という世間で広く使われる言葉や、その人の心に対して「それでいいの?」と揺さぶりをかけられる働きかけを充分してこなかった。その責めを改めて痛感させられます。

『文藝春秋』(二〇一三年十二月号)

に「うらやましい死に方」三十篇が掲載されました。795通の投稿の中から五木寛之さんなどが選んだ中に「うらやましい生き方(家族)」がありました。「はるかなる浄土の道を導かれたとどしくも我は往くなり」という辞世の歌をしたためたおじいさんが「一緒に往ってくれるか」とおばあさんに聞くと、「いやや」とおばあさんは答え、「そうか」「有難う」と言った直後、おじいさんは臨終の時を迎えた。葬儀のちおばあさんが十四人の孫を集めて、「おじいちゃんは今亡くなったけれど、ばあちゃんやみんなの心の中で生きて見守っているから淋しくないよ。仏さまになると、それぞれの心の中にいることができるから、いつもおじいちゃんと一緒だと思って、自

☆行事ご案内☆

春季永代経

3月15日(土) 午後1時半・夜7時半

16日(日) 午後1時半

講師 尾崎裕正師(奈良)

※お経開きは15日(土) 午前10時半より

◇キッズサンガ

3月1日(土) 午後4時 お経、ゲーム、賞状授与等
毎夕5時の鐘つき、年中無休。ご褒美は当たり付ガム

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索、トップページの左欄「善正寺だより」をクリック、ファイルを開くと1年分の寺報が見られます。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。

開設5年7か月で13万6千訪問、コメント、悩み相談、大歓迎!

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話
15冊目の新刊本『お念仏申してごらん』発行。800円

※三重組コーラス 3月4日(火) 午後 西勝寺様

※親鸞聖人750回大遠忌法要、平成28年5月15日に決定!

※4月19日(土) 午後1時半「初参式」一生の思い出に!

赤ちゃん、幼児を大募集! 千円、写真、数珠、記念冊子授与。

奮ってご参加下さい! 我が孫二人も受式、一緒にどうぞ!

※3月20日(木) 夜7時三全仏教婦人会総会(光念寺様で)

※三重組十三日講 3月13日午前・午後真楽寺様(南真琴師)

写真アラカルト



佐藤和義さん門徒推進員に!



2014.01.26 21:07

坊守スケッチ

末期癌患者、ブログで生きがい

私がブログを書き始めるようになって5年6か月、その間殆ど一日も休まず投稿している。早朝4時半に起床したら先ずパソコンに向かい、前日の出来事を思いつくままに記す。頭の中が真っ白な状態に、書くネタなどないしかしキーを打つうちに何とかまとまる。今ではそれが日課になった。何故早朝に投稿するのかと言えば、日中には不意の来客や用事ができ、夜には疲れ切ってパソコンに向かう気力が薄れる。従って散歩する前の仕事と決めた方が、継続できる気がしたから。毎日投稿するおかげで、読者も定着。今では13万アクセスを超えている。ブログを書くようになってから、五感を働かせて書くネタ探し。周囲の自然や出来事が新鮮に感じられるようになった。寺報は20年以上毎月休まず発行。それまでは月一回の坊守スケッチの原稿を書くのさえ憂鬱。しかしブログを始めてからは、スムーズに文章が浮かんでくる。私生活を公開することで恥ずかしい限りだが、それ以上に誰かと繋がる手応えを感じる。

ところで1/27付の中日新聞で、末期癌患者がブログを書くようになって、新たな生きがいを見つけたという記事を読んだ。「久美子ママのブログ」という名前で投稿されているので、

興味のある人は一度検索して下さい。彼女は50歳、現在は大阪のホスピスに入院中。4年前に大腸がんの手術をし、昨年1月再発して「余命2、3か月」と宣告された。7月に闘病生活の励みにと長男からタブレットを贈られ、病室でブログを始めた。「私はまだまだ生きられる。余命宣告期は過ぎたが、その後の日常を綴ります」と、病状の他、家族のこと、看護師さんとの触れ合いを毎日のように更新した。「ブログが私の何よりの抗がん剤！ブログで世界と繋がっている。末期癌患者だって辛さをユーモアに替えて生きているという事を、一人でも多くの人々に知ってもらいたい」と笑顔で話す。指が不自由になっても、タッチペンを括りつけて投稿し続ける。アクセスは5千。多い日には1万を超える。彼女の凄さはこれだけではない。

「体の向きさえ他人の介助なしでは変えられない私。芋虫ならば蛾になって飛んで行けるが私は芋虫以下。しかしこんな私でも誰かの役に立つことができる筈」と行動を起こす。全国のホスピスにタブレットを贈ろうという活動に取り組み始めた。ソフトバンクの孫社長に協力を求めたが実現しなかった。しかし全国のボランティアや同じ境遇で苦しんでいる患者や、家

族から大きな反響が寄せられている。久美子さんの残されたいのちの叫びが、多くの人を惹きつける。ブログの効用を共感すると同時に、私も彼女を見習って、一日一日を大切に丁寧に生き、その感動を発信したいと思う。

☆寄稿

四日市市 川崎孝一
☆お朝事の 庫裏を賑わす 亮爾
ちゃん 弥生は二歳 法座が和む
ちゃん 姫路 釈 貞 芳

☆ふりそそぐ 光のように 父母の慈愛 それは深い 大きな愛を 愛を受けて 私達は 今ここに生きる時は流れ 過ぎ行くとも 光に満ちた 明日がある (長洲忠彦作詞・作曲 『慈しみ 降注ぐ光』より)

Eさんのいいもの紹介

元門徒総代の伊崎栄一氏が保護士の研修旅行先富山刑務所で見つけた詩
☆掃き溜めに えんどう豆が育つ
泥地に 蓮の花が咲く
人間夫々に良い種を持っている
明日はどんな花が咲くのだろう

※SMAPの歌『世界に一つだけの花』を連想させる詩。私もどんな花を咲かせるのか?それを見つけたのが、この世に生まれた仕事ですね。(坊守)

☆カンパ有難う☆

服部薫様、伊藤八重子様、他匿名様、切手や御志頂戴。

お悔やみ申し上げます

★広 文生様(82歳・四日市 合掌)

ホットニュース

☆『おめでとう!』三重組連研を終了された佐藤和義様が、1月末3泊4日の京都西本願寺で開催された中央教修に参加。晴れて門徒推進員となられました。帰路善正寺の仏前に報告参拝。2月の例会には、その感激や抱負を語って頂きました。人間いくつになっても卒業はありません。ぜひあなたも新たな生きがいに挑戦してみてください。

☆本堂内陣天井工事、屋根瓦一部修復工事が終了しました。3月15・16日の永代経より使用できます。

☆4月19日(土)午後、『初参式』を受ける赤ちゃん、幼児を大募集!三全仏婦主催。会費千円。

【平成26年度前半善正寺主なる行事】

- ☆『春季永代経』3月15日午後・夜 16日午後、(尾崎裕正師・奈良)
- ※4/19(土)午後『初参式&降誕会』三全仏婦主催(加藤幸子師・津市)
- ※5/25(日)午前『総会』、午後『公開法座』(貴島信行師・大阪)
- ※8/23(土) 24(日)『秋季永代経』(加藤正人師・桑名市)
- ※11/2(日)午後と夜・3(月)午前と午後(仏婦主催)『報恩講』(大畠信隆師・大阪岸和田市)
- ※11/23午前秋勧進
- ※12/6(土)夜『お内仏報恩講』

☆編集子より ☆

「善正寺だより」243号をお届けします。◇寒い冬が続き、春を待つ思い一入。春は「お彼岸」から始まる。彼岸は此岸への諸仏のお働きを受け止める仏縁です。

春の足音が聞こえてきました。如何お過ごしですか？

3月は別れと出合いの季節です。シルバ川柳に「子は果
立ち夫は旅立ち 今青春」という句がありました。人生いつ
までも泣いてばかりではありません。昼時になるとグルメ
店では女子会のおしゃべりに花が咲きます。同じ悲しみを
を乗り越えた人のアドバースは貴重な励まし。坊守スグッ
チでも紹介した末期癌患者のブログは、闘病中の人や
家族には大きな支えです。自分一人で辛さを背負う
のではなく、皆で分かち合えて残されたいのちの灯を燃や
し続けるのです。お寺はそういう悲しみを縁とした
人の出合いの場なのです。そのためのお手伝いができる
のが私の願いです。長年在所に住み慣れた人が近
頃は参りつき合ひも疎遠になり、水臭い厩柄、隣近所で何
か起こっているかサッパリ分からない。下手に世話を焼くと嫌
われる。昔は葬式ができたなら皆が。ハッと寄りてきてたちまち
段取り。遺族がオロオロしても無事乗り越えられ有
難かつた。もうあの時代に逆戻りできないのね」と寂しくそう
に言われました。ケータイやスマホで目に見えない相手と
繋がることに幸せを感じる若者達。高齢化時代には
どのような支え合ひなのでしょう。皆様と共に地域コミュ
ニティの再生に向けて育て合ひましょう。3月15・16日と
永代経が勤まります。本堂内陣格天井の修復工事
も終了しました。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。
また4月15日初参式の赤ちゃんも募集中です。合掌

平成二十六年三月

善正寺坊守拝